

OS と Starter Pack の対応(Express5800/R110k-1 向け)

※注) 本書の適用範囲は以下のモデルの製品です。
他のモデルは適用対象外です。

○ R110k-1 ✕ 他のモデル

対象モデル名	対象型番
R110k-1	N8100-2951Y/-2952Y

OS と Starter Pack について

Express5800/R110k-1 (以下「サーバー」)は、Starter Pack のバージョンによってサポート可能な OS が変わります。
今後、Starter Pack のリリースに伴い、本書も更新いたしますので、リリースサーバーの安定稼働のため、本書および関連資料に記載する手順に従い、使用する OS に対応した最新の Starter Pack を適用してください。

OS インストール準備および Starter Pack の適用方法

1. 「[OS と説明書の対応表](#)」を参照し、インストールする OS の説明書を準備します。
2. 「[サーバーと Starter Pack の対応表](#)」を参照し、サーバーが対応する Starter Pack を確認します。
3. 「[OS と Starter Pack 対応表](#)」を参照し、インストールする OS に対応した Starter Pack のバージョンを確認します。
4. 「[サーバーに適用されている Starter Pack バージョンの確認方法](#)」を参照し、サーバーに適用されている Starter Pack のバージョンを確認します。適用済みの Starter Pack がインストールする OS に適合している場合は、7.に進みます。
5. OS インストール前に、「[Starter Pack の適用方法\(オフライン手順\)](#)」を参照し、3.で確認したバージョンの Starter Pack を適用します。
6. 再び「[サーバーに適用されている Starter Pack バージョンの確認方法](#)」を参照し、適用した Starter Pack のバージョンが正しいか確認します。
7. 使用する OS のインストールガイドを参照し、OS をインストールします。
Starter Pack のダウンロードサイトにインストールガイドが掲載されているときは、そちらを優先します。
8. Windows Server または RHEL を使用する場合、OS のインストールガイドを参照し、3.で確認した Starter Pack のダウンロードサイトに記載の手順に従い、OS 上で Starter Pack を適用します(VMware の場合、適用は不要です)。

OS と説明書の対応表

対象 OS		本書	説明書		
			インストールガイド (Windows 編)	インストールガイド (Linux 編 RHEL8.4 版)	Starter Pack のアップデート手順
Windows Server	2019	✓	✓ ※3		✓
	2022	✓	✓ ※3		✓
Red Hat Enterprise Linux	8.4	✓		✓	✓
	8.5 ※2	✓		✓	✓
VMware ESXi ※1	7.0 update 3	✓			✓

※1 インストールに際し、別途ドライバの適用が必要になる場合があります。

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140105866> を参照ください。

※2 RHEL8.5 をインストールする場合、はじめに RHEL8.4 をインストールし、その後、利用する RHEL へのアップデートを実施する必要があります。

※3 Express5800/R110k-1 の製品マニュアルサイトに掲載のインストールガイド(Windows 編)は、Starter Pack Version S8.10-010.02 に準じたインストール手順です。Starter Pack S8.10-010.03 以降を使用する場合は、使用する Starter Pack のダウンロードサイトに掲載している「インストールガイド(Windows Server 20xx 編)」を参照してください。

説明書は下記より入手してください。

- インストールガイド
ダウンロード先: <https://www.support.nec.co.jp/> (「製品から探す: ハードウェア」→「型番・モデル名から探す」→「製品マニュアル」→「ユーザーズガイド」)
- Starter Pack のアップデート手順
ダウンロード先: <https://www.support.nec.co.jp/> (「製品から探す: ハードウェア」→「型番・モデル名から探す」→「修正情報・ダウンロード」→Starter Pack を検索)

サーバーと Starter Pack の対応表

サーバー		Starter Pack バージョン	
		S8.10-010.02 (2022/04/26 公開)	S8.10-010.03 (2022/05/30 公開)
R110k-1	N8100-2951Y/-2952Y	✓	✓

OS と Starter Pack 対応表

Starter Pack のバージョンによって、サポート可能な OS が変わります。
下記の表を参照し、対象 OS に対応した Starter Pack を適用してください。

対応 OS		Starter Pack バージョン	
		S8.10-010.02 (2022/4/26 公開)	S8.10-010.03 (2022/5/30 公開)
Windows Server	2019	✓	✓
	2022	✓	✓
Red Hat Enterprise Linux	8.4	✓	✓
	8.5 ※2		✓
VMware ESXi ※1	7.0 update 3	✓	✓

公開日は、各 Starter Pack バージョンの最新版を Web サイト上に公開した日付です。

※1 インストールに際し、別途ドライバの適用が必要になる場合があります。

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140105866> を参照ください。

※2 RHEL8.5 をインストールする場合、はじめに RHEL8.4 をインストールし、その後、利用する RHEL へのアップデートを実施する必要があります。

補足事項

- サーバー(N 型番)および Starter Pack 製品(UL 型番)は、ご注文時の最新バージョンの Starter Pack、EXPRESSBUILDER、SPS ファームウェアが適用、収録され出荷されます。今後の Starter Pack 更新に伴い、古いバージョンの Starter Pack を適用する場合は、NEC Web サイトよりダウンロードしてください。サーバーの保証期間内および保守契約期間であれば無償でダウンロードできます。ダウンロード先: <https://www.support.nec.co.jp/> (「製品から探す: ハードウェア」→「型番・モデル名から探す」を選択)
- 今後、Starter Pack の更新に伴い、本資料を更新します。Starter Pack は安定稼働のため、本書および関連資料に記載する手順に従い、使用する OS に対応した最新の Starter Pack を適用してください。
- RAID/SAS コントローラのファームウェアは、使用する OS により Starter Pack S8.10-010.03 で適用されるバージョンから変更が必要な場合があります。下表を参考にファームウェアを適用してください。

RAID/SAS コントローラ	Windows	Linux	ESXi
N8103-192/193/197	4.11 ※1	4.11 ※1	4.11 ※1※2
N8103-237	03.01.07.046 ※3	03.01.07.046 ※3	03.01.09.056 ※4

※1 前バージョンの Starter Pack S8.10-010.02 を使用してファームウェアをアップデートしてください。

※2 バージョン 3.00 以前からアップグレードした場合は通報方式が変更となります。詳しくは <https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140108419> を参照ください。

※3 下記 URL の内容をご確認いただき、ファームウェアをアップデートしてください。アップデート手順は、同梱の手順書を参照してください。

<N8103-237 RAID コントローラ ファームウェアモジュール 03.01.07.046>

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110244>

※4 Starter Pack S8.10-010.03 で適用されるバージョンから変更する必要はありません。

- RAID コントローラファームウェアアップデート手順
 1. Starter Pack のダウンロードサイトに記載されている「アップデート手順」の中の【オフラインからのファームウェアアップデート】に従い手順を進めます。
 2. 「Starter Pack DVD からのファームウェアアップデート手順」の(10)「手順2 レビュー」まで進めたら、右図を参考に RAID コントローラ以外のファームウェアをすべて適用しない設定に変更して「展開」をクリックします。
 3. アップデート完了後に「Reboot」を選択してシステムを再起動してください。

RAID コントローラファームウェア
☒ 選択済み または ☒ 強制
RAID コントローラ以外のファームウェア
☐ 選択 または ☐ 強制

Starter Pack のバージョン確認と適用方法

サーバーに適用されている Starter Pack バージョンの確認方法

EXPRESSBUILDER のファームウェアバージョンにより、サーバー出荷時に適用された Starter Pack のバージョンを確認できます。

EXPRESSBUILDER の ファームウェアバージョン	iLO5 のファームウェア バージョン	対応する Starter Pack のバージョン
3.70.46 (E8.10-010.01)	2.60	S8.10-010.02
3.76.2 (E8.10-010.03)	2.65	S8.10-010.03

EXPRESSBUILDER、iLO5 ファームウェアバージョンの確認方法

EXPRESSBUILDER のファームウェアバージョンを確認する方法は下記 2 通りあります。どちらか一方を実施します。

- **サーバーのローカルコンソールで確認する方法**
 1. サーバーの電源が ON の場合は、シャットダウンして電源を OFF にします。
 2. サーバーにディスプレイとキーボードを接続します。
 3. サーバーの電源を ON にします。POST 画面が表示されますので、キーボードの<F9>キーを押します。
 4. システムユーティリティ画面が表示されますので、キーボードを操作し「System Information → System Information → Firmware Information」を選択します。
 5. システムユーティリティ画面にファームウェアバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです。
 - 画面の「EXPRESSBUILDER」→ EXPRESSBUILDER のファームウェアバージョン
 6. <ESC>キーまたはシステムユーティリティ画面の「Exit」を選択し、システムユーティリティを終了します。
注) システムユーティリティの操作方法は、メンテナンスガイドの「便利な機能」、「システムユーティリティ」を参照します。
- **iLO Web インターフェースを利用して、リモートから確認する方法**
 1. iLO5 の管理用ネットワークに接続できる PC 端末を準備します。
 2. PC 端末の Web ブラウザーを起動し、iLO Web インターフェースに接続し、ログインします。
 3. 左メニューの「ファームウェア & OS ソフトウェア」を選択し、「ファームウェア」を選択します。
 4. iLO Web インターフェース画面にファームウェアのバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです。
 - 画面の「EXPRESSBUILDER」→ EXPRESSBUILDER のファームウェアバージョン
 5. Web ブラウザーを終了し、iLO Web インターフェース画面を閉じます。
注) iLO Web インターフェースの操作方法は、iLO5 ユーザーズガイドを参照します。

Starter Pack の適用方法(オフライン手順)

1. 適用する Starter Pack を「[ソフトウェアの入手先](#)」を参照して入手します。ISO ファイルを DVD-R に書き込みます。
2. 手順 1. で参照した Web サイトに記載の「アップデート手順」に従ってファームウェアをアップデートします。ここでは、オフラインの手順のみ実施します。
3. オフラインからのファームウェアのアップデートは終了です。「[OS インストール準備および Starter Pack の適用方法](#)」内の手順 6 以降を実施します。

Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧

Starter Pack は、下記の各コンポーネントのバージョンを収録および個別公開しています。
安定動作のため、Starter Pack に対応する各コンポーネントの最新バージョンを適用することを推奨します。

Starter Pack そのものをアップデートする場合は、「[ソフトウェアの入手先](#)」の Starter Pack やコンポーネントのダウンロード URL の記載内容をご確認ください。

下表の Starter Pack に含まれるコンポーネントの組合せと異なる内容にアップデートされる場合は、「[Express5800 シリーズ/iStorage NS シリーズ ファームウェアと関連モジュールの version 管理について](#)」の記載内容に従って、依存関係のあるコンポーネントをアップデートする必要があります。

OS インストールに伴い Starter Pack を用いてファームウェアをダウングレードする場合は、一部のファームウェアはダウングレードを実施しないため、ダウングレード後の Starter Pack に収録されているバージョンと一致しない場合があります。その場合はファームウェアダウングレード手順書の記載を優先してください。

対応するコンポーネント	Starter Pack バージョン	
	S8.10-010.02 (2022/4/26 公開)	S8.10-010.03 (2022/5/30 公開)
◎System ROM (BIOS) ※2	1.54	◎1.54
◎iLO5 (BMC) FW	◎2.60	◎2.65
◎iLO5 日本語パック	◎2.55	◎2.60
◎Server Platform Services (SPS) FW	06.00.03.039	◎06.00.03.039
EXPRESSBUILDER	E8.10-010.01 FW Ver:3.70.46	E8.10-010.03 FW Ver:3.76.2
◎Power Management Controller Firmware	◎1.08	◎1.08
◎RAID 通報サービス (Windows 用)	◎3901	◎3908
◎RAID 通報サービス (RHEL 用)	◎3901	◎3901
◎Agentless Management Service (Windows 用)	◎2.50.1.0	◎2.51.0.0
◎Agentless Management Service (RHEL 用)	◎2.5.0	◎2.6.0
Agentless Management Service (VMware 用)	701.11.8.0	701.11.8.0
◎iLO Channel Interface Driver (Windows 用)	◎4.7.1.0	◎4.7.1.0
iLO Channel Interface Driver (RHEL 用)	サポートする Linux Kernel に組込	
iLO Channel Interface Driver (VMware 用)	700.10.7.5	700.10.7.5
WBEM Provider (VMware 用) ※1	サポート対象外	
◎Smart Storage Administrator (Windows, RHEL 用)	◎5.20.8.0	◎5.30.6.0
Smart Storage Administrator (VMware 用)	◇5.10.45.0	◇5.10.45.0
ESMPRO/ServerManager (監視サーバー用)	6.57	6.58
◎ESMPRO/ServerAgentService (Windows 用)	◎2.34	◎2.35
◎ESMPRO/ServerAgentService (RHEL 用)	◎2.2.4-0	◎2.2.5-0
Intel(R) Virtual RAID on CPU ユーティリティ (GUI)	◎7.7.0.1281	◎7.7.0.1281
Intel(R) Virtual RAID on CPU ユーティリティ (CLI)	◎7.7.0.1260	◎7.7.0.1260

◎二重丸： Starter Pack に同梱されるコンポーネント。

◇ひし形： VMware ESXi インストールメディア(NEC カスタムイメージ)に同梱されるコンポーネント。

(無印)： 個別にダウンロードするコンポーネント。

(かっこで囲まれたバージョン)： 旧バージョン。かっこの付いていない最新バージョンを適用することを推奨します。

※1 RAID コントローラファームウェアが 4.11 の場合、WBEM Provider(VMware 用)はサポート対象外となります。

※2 SystemROM を適用する場合は、iLO5 FW が推奨バージョンであることを確認してください。推奨バージョンでない場合は事前に iLO5 FW の適用をお願いします。

補足

- Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧は、本注意事項の発行日時時点の最新情報です。サーバーの安定動作および新機能の追加のため、新バージョンが予告なく公開、追加される場合があります。

OS と Starter Pack の対応 Express5800/R110k-1 向け

- System ROM(BIOS)、Power Management Controller、iLO5 (BMC) FW、iLO5 日本語パック、HDD/SSD 製品のファームウェアはダウングレード対象のコンポーネントではありません。ダウングレードする場合、これらの FW のバージョンが適用した Starter Pack よりも新しくなりますが問題ありません。
- ESMPRO/ServerAgentService (Windows 用)と ESMPRO/ServerAgentService (RHEL 用)は、iLO5 (BMC) FW バージョンをサポートしている ESMPRO/ServerAgentService バージョンをインストールしてください。

ソフトウェアの入手先

ソフトウェア名	バージョン	入手先
Starter Pack	S8.10-010.02	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110194
	S8.10-010.03	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110243
EXPRESSBUILDER	E8.10-010.01	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010109984
	E8.10-010.03	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110259
System ROM(BIOS)	1.54	(Starter Pack S8.10-010.03 に同梱)
iLO5 (BMC) FW	2.60	(Starter Pack S8.10-010.02 に同梱)
	2.65	(Starter Pack S8.10-010.03 に同梱)
iLO5 日本語パック	2.55	(Starter Pack S8.10-010.02 に同梱)
	2.60	(Starter Pack S8.10-010.03 に同梱)
Server Platform Services (SPS) FW	06.00.03.039	(Starter Pack S8.10-010.03 に同梱)
iLO Channel Interface Driver (VMware 用)	700.10.7.5	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110001
Agentless Management Service (VMware 用)	701.11.8.0	
WBEM Provider (VMware 用)	本書対象全装置	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3010101744
Smart Storage Administrator (VMware 用)		
VMware ESXi デバイスドライバ情報一覧	本書対象全装置	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140105866

変更履歴

版数	改版日	改版内容
2	2022 年 05 月 30 日	Starter Pack S8.10-010.03 対応
1	2022 年 04 月 26 日	初版